町

2010年(平成22年) 1月16日(土曜日)

26

tokuho@chunichi.co.jp

六二年まで同国を承認し 維持していた米国は一八 て黒人初の独立国となっ チの貧困は植民地支配の 結果と指摘する。 「一八〇四年に独立し

ランスによる植民地支配 ていること。フランスは の経済構造が現在も残っ ハイチにコーヒーや砂糖 授 (ハイチ史) は、ハイ 代化を阻害してきた」。 構造が独立後も産業の近 などを作らせたが、その 北海学園大学の浜忠雄教 「貧困の最大原因はつ

の実情に触れる機会は少 海に浮かぶ「西半球の最 などを聞いた。(秦淳哉 ない。同国と交流のある 日本人たちに暮らしぶり 貧国」。ただ、日本でそ

- 種対立も
- 家屋は単純
- 低い識字率 医療面も遅れ

## な重

れている。同国はカリブ 大地震。救援活動は難航 し、被害の拡大が懸念さ 認したが、代わりに国家 中米ハイチを直撃した なかった。旧宗主国のフ を支払わせ、これも国家 成するムラート (熈人と う発想だ。天災ではハリ 歳費の十年分もの賠償金 が経済環境の悪化に拍車 ランスは一八二五年に承 の重荷となった」 その後も度重なる政変 強い。政治的にも反発し

合っている」と説く。 の急斜面に立つ住宅が壊 滅状態となった。 一九八 立つが、明るくて顔は生 文則氏(ま)は、現地の住ンを著るなど公私の礼節 トジャーナリストの佐藤 はアイロンをかけたズボ イチを取材してきたフォ ロボロの服でも、外出時 宅について「日本のブロ もある。つらい時代を過 八年以降、二十回以上ハ き生きしている。家でボ 今回の大地震では、山 か。佐藤氏は「貧困は目

う。浜教授は「大多数の 内の人種対立があるとい み、その上に屋根を置い 黒人と、エリート層を形 白人の混血)の対立が根 を掛けた。背景には、国 ック塀のようなものを積 で、地震は想定外だった ケーン被害のほうが深刻 露がしのげればいいとい 魅力」と説明する。 ただけの簡単な構造。雨 だろう」と語る。 暮らしぶりはどうなの ず、たくましさが一番の 殺する人はほとんどおら ごしたにもかかわらず自 「主食はコメで自ら栽

族の中に一人か二人はい

る。海外からの仕送りが

和国に移り住んだ人が家

米国

隣国のドミニカ共

30~40%程度だろうこ 国からの安い輸入米のせ 培しているが、最近は米 足しにしており、実際は 菜や古着を売って生計の %とも。ただ、女性が野 れつつある。失業率は70 いで自給自足の生活は崩 苦しい生活を支えるの や学校数も足りない」 率は低く、教員のレベル ることが夢。でも、識字 は米国やカナダで成功す 言われ、若い人にとって 国家予算に相当するとも

究所に勤務した長崎大勢 歳。二〇〇三年から約 五十一歳、女性で五十二 年間、ハイチの感染症研 いる。平均寿命は男性が 教授(国際保健学)は 帝医学研究所の山本太郎 医療サービスも遅れて 人口当たりの医師や病

明るく、礼儀正しい国民性

の仕送りだ。 は、国外にいる家族から

IV) 感染者も成人の5 いのが実情だ」と話す。 人も貧しさで受診できな て発症している。病気の の半数はHTVに起因し **~7%に上り、結核患者** は欠かせない」と異口同 回の大地震。前述の三人 とも、「緊急の海外援助 院数は先進国の数十分の 。エイズウイルス(H 困難な日常の下での今